

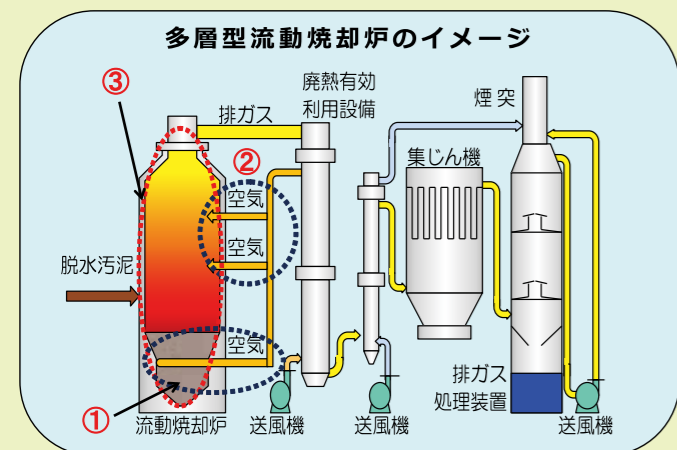
北多摩二号・浅川水再生センター間連絡管

多摩川をはさんで向かい合う二つの水再生センター間を結ぶ連絡管があります。
連絡管は、震災時等のバックアップ機能、施設の再構築や日常の維持管理における相互融通機能を備え、効率的かつ安定的な下水処理に貢献します。



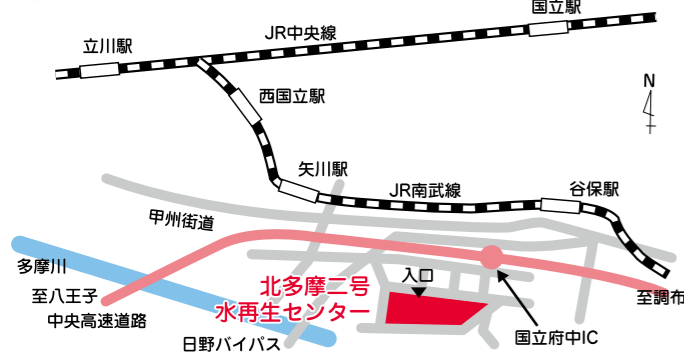
多層型流動焼却炉の導入 (温室効果ガスの削減)

新たな燃焼方式を採用した焼却炉を導入し、汚泥焼却時に発生する温室効果ガスを大幅に削減しています。



従来型に比べ、①焼却炉底部からの空気を絞るとともに、②新たに中段部から空気を送り込むことで、広い範囲での高温領域を形成し、燃焼時のN₂O(一酸化二窒素)を熱分解させることで、温室効果ガスを抑制します。また、③焼却炉内の燃焼を効率化することで、補助燃料の使用量が削減できます。

案内図



- 所在地 〒186-0012 東京都国立市泉1-24-32 ☎042-572-7711
- 交通 JR南武線「矢川」駅から徒歩20分
立川バス：(JR) 国立駅南口～(JR) 矢川駅～国立泉団地(終点)
京王バス：(京王) 中河原駅または聖蹟桜ヶ丘駅～都営泉二丁目(終点)
<立川バス・京王バスいずれも下車徒歩5分>

夏のイベント「夏休み親子でたいけん下水道」

地域に愛され親しまれる水再生センターとして、夏休みに合わせ、イベントを開催しています。



国立市流域下水道処理場広場

水処理施設の上部空間は、少年野球場、テニスコートなどがある国立市の運動公園として、市民の皆さまの憩いの場となっています。

<利用申込先>くにたち市民総合体育館
TEL042-573-4111



●東京アメツシュ
都内とその周辺地域で降っている雨をレーダーと地上雨量計で観測し、リアルタイムに表示するシステムです。

●下水道アドベンチャー
下水道についてのクイズに正解して、下水道マイスターを目指そう。

●下水道局ホームページ
<https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/>



地域で育む水環境

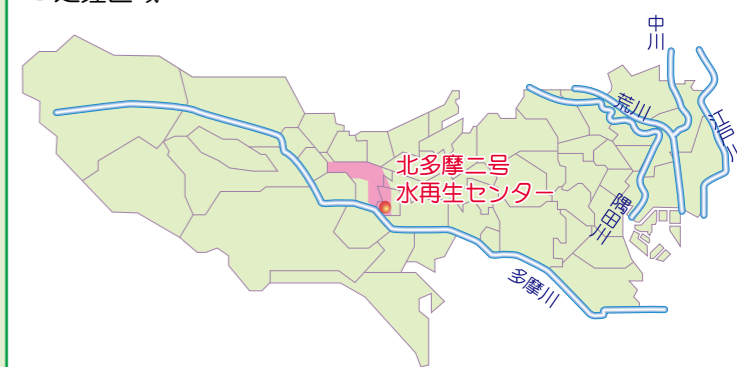
北多摩二号水再生センター



北多摩二号水再生センターの処理区域は、国立市の大部分、立川市・国分寺市の一部で、計画処理面積は2,744ha(単独処理区を含んだ数値)です。

ステップA₂O法(嫌気-無酸素-好気法)という従来よりも水をきれいにできる高度処理方式を一部取り入れ、処理した水は多摩川に放流しています。また、その一部を砂ろ過してセンター内の機械の洗浄・冷却やトイレ用水などに使用しています。

●処理区域



(令和5年4月現在)

- 運転開始 平成元年4月
- 敷地面積 112,003m²
- 処理能力 93,400m³/日
- 雨天時貯留池 13,000m³

●水処理施設

- 沈砂池 6池
- 第一沈殿池 3池
- 反応槽 4槽
- 第二沈殿池 4池
- 高速ろ過池 8池
- 汚泥処理施設
- 重力濃縮槽 2槽
- 濃縮機 3台
- 脱水機 4台
- 焼却炉 2基

●流入・放流水質

水再生センターからの放流水は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」の水質基準を十分に満たし、魚がすめる水質です。

単位：mg/L

項目	流入水	放流水	条例による放流水の水質基準
BOD	190	3	25以下
COD	110	8	—
全窒素	30.7	8.1	30以下
全りん	3.4	1.0	3以下

令和3年度 24時間試験平均値
*BOD、CODは、数値が高いほど水が汚れていることを示します。BODは、微生物が有機物を分解するのに使う酸素量、CODは酸化剤で有機物を分解して消費する酸素量で測ります。放流水の水質基準は、河川はBOD、海域はCODにより定められています。全窒素、全りんは、赤潮の発生などと深くかかわっています。



